

吉川小学校だより

平成26年度 8月号

環境は人をつくる
環境は人がつくる

校長 濱田 芳郎

梅雨も上がり、蟬時雨と共に夏空が広がるようになりました。「吉川」の夏本番の行事として子どもたちが楽しみにしている教育活動の「川遊び」を七月十五日に、PTA行事の親子レクリエーションを七月二十日に実施しました。川



7月15日 川遊び



7月20日 PTA親子レクリエーション

はプールに比べ水温も低く、流れや川底の変化、魚などの生き物があるということ、子どもたちも自分に合った遊び方で川遊びを満喫したようでした。

また、閉校記念実行委員会においては、地域・保護者・

学校職員が仕事の合間を縫って、趣意書発送事務や記念誌作成のための編集作業等に励んでいらつしやいます。学校へも、校区外の卒業生から「趣意書等のお知らせが届きました。閉校は急なことで驚いていますが、私も何かお手伝いできれば」というような電話もいただいています。実行委員会の仕事充実したものになってきています。

「環境は人をつくる 環境は人がつくる」という言葉があります。子どもたちの周りには、生活環境・学校環境・自然環境その他諸々の環境があります。その環境をつくる要因には、人間関係などいろいろなものがあります。子どもたちは、環境に影響されながら成長していきます。また、大人は、子どもたちのためによい環境をつくっていく必要があります。「子は、親の背中を見て育つ」といわれます。家庭・学校・地域それぞれで子どもたちのための環境づくりを行っていききたいものです。

七夕集会

「吉川小のみんなの最高な笑顔が見られますように。」「人にやさしく自分まにきびしい高学年になりますように。」季節感あふれる夏の伝統行事の七夕祭り。美しく飾られた笹の短冊に書かれた子どもたちの優しくかわいらしい願いです。

七月八日の朝の活動の時間に七夕集会を行いました。子どもたちはそれぞれ短冊に書いた自分の願いを発表した後、笹の短冊を結びつけました。七夕の夜はまだ明けぬ梅雨の曇り空で、彗星や織姫星は見る事ができません。



とかな願んがでま
と思ないな、しん
す。いうがみたん

水泳大会

七月十一日に水泳大会を実施しました。それまで梅雨や台風のため天気に恵まれず、なかなか思うように練習ができませんでした。が、水泳大会当日はすばらしい夏空に恵まれました。降り注ぐ太陽の下、クロール、平泳ぎ、低学年の水中央ダンスにリレーなど、これまでの水泳学習の成果を保護者の前で発表しました。



PTA親子レクリエーション（川遊び）



8月・9月の行事予定

- 8月1日(金) 出校日
- 13日(水) 夏祭りin吉川
- 21日(木) 出校日
- 24日(日) PTA資源回収・奉仕作業・田んぼで遊ぼう
- 9月1日(月) 2学期始業式
- 2日(火) 身体計測・視力検査・PTA理事会
- 5日(金) 貯金日
- 6日(土) 子ども大綱引き
- 11日(木) 授業参観・PTA全体会・学級PTA
- 21日(日) 秋季大運動会
- 22日(月) 振替休日



小中一貫教育

薩摩川内市では「中一ギャップの解消」や「ふるさと教育の推進」「教職員の指導力向上」を主な目的として連携型の小中一貫教育を推進しています。七月には平成中の島田先生をお招きして高学年の英語の授業を実施したほか、平成中学校区の五小学校の高学年の児童が平成中の集まり、中学生と一緒に合唱発表会を行う「夏の平成フェスタ」を実施しました。中学校の先生の専門性を生かした交流授業を行ったり、



7月7日 英語の交流授業

7月4日 平成フェスタ

中学生や他の小学校の児童との交流を行うことにより、時の不安を軽減し、小学校生活から中学校生活へスムーズに移行できるように努めます。